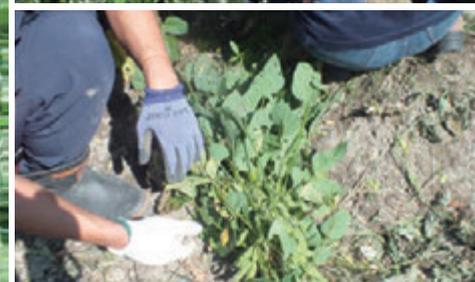


NEWS

NO.14

福岡女子大学地域連携センターの2024年度活動内容を報告します



表紙：宗像市バスツアー【枝豆収穫体験】

ご挨拶 02

特集 03

地域交流部門

- 地域との交流・イベントへの参加 04
- 東部地域大学連携 06
- 生涯学習カレッジ2024..... 08
- 公開講座2024..... 10

研究支援部門 12

実績一覧 14

2025年度公開講座案内 16





理事長兼学長
向井 剛

地域社会の大学となるために

福岡女子大学が地域社会と協働する姿を記録した「地域連携センターニュース No.14 (2024年度)」をお届けいたします。

今、大学には、<地域社会の大学>となる姿勢が求められています。本学は「街化するキャンパス」の標語を掲げて、キャンパス内を学生とともに地域の方々、企業、行政、教育の関係者が行き交い、共に活動する姿をめざしています。

本センターは、地域交流と研究支援の2つの部門からなり、学生と教職員が潜在的に持つ知見・技術・文化力を、地域社会と連携するなかで発現できることを願っています。また、『教員のデータブック』を毎年公表して社会からの要望を待ち、いつでもそれに応えられるよう準備しています。一層のご協力とご支援をお願いいたします。



地域の皆様と共に歩む 地域連携センター

国際文学部 食・健康学科 教授
地域連携センター長

片桐 義範

福岡女子大学地域連携センターは、地域社会に幅広く貢献することを目指して「研究支援部門」、「地域交流部門」2部門で構成され運営を行っております。「研究支援部門」は、本学の知的資源を活用し、地域社会の発展に貢献するため、企業や公的研究機関との共同研究のサポート、各種セミナーの開催、技術交流会などを実施し産学官連携を推進しています。「地域交流部門」は、地域との交流を大切にすると共に、地域の活性化や発展を目指して、小中高等学校、各企業・団体、行政などと連携した地域交流活動を推進していきたいと考えています。これからも本学の教育・研究資源を地域の皆様にご活用いただき、地域の皆様と共に歩みながら更に連携を深めていきたいと思っております。皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



変わる時代、 変わらぬつながり

国際文学部 食・健康学科 准教授
副センター長・地域交流部門長

小林 弘司

本年度も、地域の皆さまと連携し、多様な活動を継続しました。「香住っ子ひろば」や「防犯パトロール」に加え、「夏祭り」「餅つき大会」などの地域行事を通じ、世代を超えた交流を深めることができました。また、「LINEで繋がるコミュニケーション」ではデジタル技術を活用した交流を促進し、「夏の音楽祭」や「香住ヶ丘音楽会」では音楽を通じたつながりを築く機会となりました。さらに、本年度は公開講座を10回開催し、地域の皆さまに学びの場を提供することができました。加えて、東部地域大学連携の取り組みを通じ、地域との結びつきを強化しました。今後も地域とともに歩み、支え合う関係を築いてまいります。引き続き、地域に根ざした活動の充実に努めますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



地域と連携した研究活動と 成果の情報発信

国際文学部 環境科学科 教授
副センター長・研究支援部門長

小崎 智照

本年度も3年前より開始した昇任教員による研究講演会を9月24日に実施することができました。今回は昇任した教授3名と准教授1名による研究紹介が行われました。また、12月11日には福岡県工業技術センターとの研究交流会も開催し、同センター職員による県内の酒造や繊維に関する技術紹介が行われました。研究交流会は学内の学生・教職員による開催でしたが、昇任教員による講演会には学内だけでなく地域にお住まいの方々にも多数ご参加いただき、本学の研究について情報発信ならびに意見交換を行うことができました。本部門ではこのような研究活動を通して大学の知を地域社会へ還元できるように努めてまいりますので、これからもご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

特集 SPECIAL FEATURE

「ふくおか農林漁業応援団体」の県知事表彰受賞

日にち | 2024年10月26日 場所 | 福岡大名ガーデンシティ・パーク

「食育・地産地消月間キックオフイベント」において、福岡県の農林水産業の振興や地産地消に貢献した団体として、本学が「ふくおか農林漁業応援団体表彰」を受賞しました。「ふくおか農林漁業応援団体」とは、福岡県産農林水産物の消費拡大につながる取組等を通して福岡の農林水産業を応援しよう、という活動を日頃から行っている企業・団体のことで、今年度、その中から特に優良な取組をしている企業・団体として、本学と(株)岩田屋三越様の2団体が表彰されました。

本学においては、学生食育ボランティアサークル「しょくぼねっと」の子ども向けの食育講座や学生向けの朝食啓発活動をはじめとする様々な取組や、体験学習として取り組んでいる福岡県庁地下食堂での「ヘルシーメニューの提案」、そして、国際フードスタディセンターにおける福岡県庁及び企業と連携した「食品ロス削減レシピ開発」などが評価され、表彰されたものです。表彰式には、太田教授(副学長兼国際フードスタディセンターセンター長)が出席し、服部福岡県知事から表彰状が授与されました。



「しょくぼねっと」
代表学生の声
食・健康学科4年
岩本 和夏さん

「ふくおか農林漁業応援団体」の県知事表彰を受賞することができたことを、心から光栄に思います。昨年度、しょくぼねっとでは、福岡県の農林水産物に関連した子ども向けの食育講座や学生向けの朝食啓発活動などに取り組みました。それらの活動が今回の受賞に繋がったことを大変嬉しく思います。今後も福岡の農林水産物の魅力を伝えることができる食育活動を続けていきたいです。

福女大キャンパスで香住丘校区と合同の「認知症声掛け訓練」を実施

日にち | 2024年11月9日 場所 | 福岡女子大学キャンパス

福岡市東区では「認知症に優しいまちづくり」を推進しています。この取組を若い世代にも広げるべく、本学を含む東部地域大学連携では、東区と連携して大学生向けの認知症講座を毎年開催しています。今年度は、認知症を学ぶ講座を各大学で実施した後、講座を受講した3大学の学生が本学キャンパスに集まり、香住丘校区の地域住民の方々と共に、実際に困っている認知症の方に声をかける練習を行う「声掛け訓練」を実施しました。



参加学生の声
国際教養学科2年
上村 明空さん

活動に参加する前は「認知症」は自分とは関係ないものという意識がありました。しかし、講座を受けたり、声掛け訓練に参加したりして、認知症の知識を改め、もし出会ったらどのように接したら望ましいかを考えることができました。相手をよく見て、相手の立場に立って話すといった声掛けの仕方は認知症の人に対してだけでなく、様々な人と関わる中でも意識することでより良い関係を築くことができると思います。

「ランドセルランド」に遠賀信用金庫と連携した子ども向け体験ブースを出展

日にち | 2024年10月26日・27日 場所 | 福岡市役所西側ふれあい広場横

九州産業大学造形短期大学部とNPO法人が主催する中古ランドセルの譲渡会「ランドセルランド」に遠賀信用金庫と連携して子ども向けの体験ブースを出展しました。本イベントは、不要になったランドセルを必要とする子どもたちに楽しい気持ちで持って帰ってもらおうと企画されたものです。本学と遠賀信用金庫の合同ブースでは、当日同時開催された「環境フェスティバルふくおか2024」にちなみ、環境にやさしい「古紙(新聞紙)を活用したエコバックづくり」と金融機関ならではの「1億円の模擬紙幣を活用した重さ当てゲーム」を子どもたちに体験してもらいました。2日間にわたってたくさん子どもたちがブースを訪れ、企画を楽しみました。



参加学生の声
国際教養学科3年
森山 恵さん

私はこのプロジェクトに参加するのは2回目なのですが、前回よりもさらにパワーアップしたイベントになったと思います。他大学の学生や企業の方と連携してイベントを作り上げるというのはなかなかできない貴重な経験だったと感じています。約4カ月の準備期間は大変なこともありましたが、当日は子供たちの笑顔を見ることができてとても嬉しかったです。

地域交流部門

地域交流部門では、地域との交流を大切にしております。
同時に、地域ニーズの把握に努め、本学の持つ知的資源と地域ニーズのマッチング等の事業を展開することで、地域の活性化に寄与してまいります。

地域(香住丘校区)との交流

本学が所在する福岡市東区香住丘校区の様々な事業に本学の学生、教職員が協力しています。

香住っ子ひろば・夜の香住っ子ひろば

香住っ子ひろばは、小学校週5日制の導入をきっかけに子どもたちの居場所づくりを目的として行われており、本学の学生がボランティア活動の一環として参加しています。

夜の香住っ子ひろばは、公民館が月に一度実施する地域住民を対象に夕食を提供する取り組みで、学生は主に給仕や盛り付け等に従事しています。



夜間合同パトロール

校区の安全安心のため、毎月第3金曜日午後8時から合同パトロールが行われています。

本学からも寮生や教職員が参加しています。



第29回香住丘校区夏祭り

地域連携センターの学生委員と放送サークルの学生の皆さんが、司会や受付など各役割を丁寧に務めていただきました。サークルからは、舞踏研究会がステージ出演をしました。おかげで、今年も大変盛り上った夏祭りとなりました。



キャンパスイルミネーション2024

今年もイルミネーション点灯式を実施しました。地域の方にも沢山足を運んでいただきました。



第23回香住丘音楽会

地域の音楽家や住民の方々と一緒に作り上げる音楽会です。福岡女子大会館にて開催され、学生が司会とステージ発表にて参加しました。



そば打ち体験教室@香住丘公民館

本学の留学生が、そば打ちという日本の食文化を通して地域の皆様と楽しく交流を深めることを目的として開催しました。当日は、「福岡そばの会」の方々にご指導いただきながらそば打ち体験をし、打ち立てのおそばを地域の皆様と一緒に美味しくいただきました。



ふれあい健康教室@香住丘公民館

2020年度より、本学教員と連携協定企業(新生堂薬局様、大塚製薬様)が、香住丘公民館にて健康に関する講座を年3回実施しています。今年度は、フレイル予防、食事の彩りの良さの重要性、お口の健康についての講演や、骨密度測定や脳トレ(シナプソロジー)を実施しました。



第3回 新生堂薬局様による脳トレ

- 第1回**

前半 「健康は生きる源(みなもと)～フレイル予防のためにちょっとからだを動かしてみませんか」
食・健康学科 太田 雅規 教授

後半 「フレイル予防を心がけて健康な毎日を過ごしましょう!」
大塚製薬株式会社 大田原 美奈子 様
- 第2回**

前半 健「幸」は食事から!～見た目のおいしさとは～
食・健康学科 笠原 優子 講師

後半 「骨の健康の話」
株式会社新生堂薬局 管理栄養士 佐藤 様
測定メニュー: 骨密度測定
株式会社新生堂薬局 地域連携部 藤川 様
- 第3回**

「オーラルフレイル講座」
株式会社新生堂薬局 管理栄養士 佐藤 様
測定メニュー: 脳トレ(シナプソロジー)
株式会社新生堂薬局 地域連携部 藤川 様

名島公民館との連携事業「スマホ活用講座」

日にち | 2024年9月21日 場所 | 名島公民館

本学の地域連携事業の運営をサポートする地域連携センターの学生委員4名が名島公民館でシニア世代向けのスマホ活用講座を実施しました。本講座は、名島公民館からの依頼のもと実施したもので、ITツールに不慣れな年配の方に対して、スマホの基本操作やLINEの使用法等、生活の役に立つ必要最低限の内容を習得してもらい、家族や地域の仲間とコミュニケーションをとるきっかけを提供することを目的としたものです。資料作成から当日の運営まで、全てを学生たちが担当しました。参加した学生たちは、地域住民の方々との交流を楽しみながら、丁寧にレクチャーしていました。



国際教養学科1年
黒木 ひよりさん

参加者の方が実際にご家族にボイスメッセージや写真を送る様子が見られ、充実した時間になったと思います。普段関わる機会が少ない方々と上手にコミュニケーションをとるために試行錯誤するなかで、たくさんのごことを学びました。世代を超えた交流を通じて、自分の視野をもっと広げていきたいです。



香椎浜公民館との連携事業 しょくぼねっと「小学生向け食育講座」

日にち | 2024年9月14日 場所 | 香椎浜公民館

香椎浜公民館の小学生向け事業「はまっこ塾」に参加する子どもたちを対象に、本学の食育ボランティアサークル「しょくぼねっと」が魚の栄養や構造、海の環境問題などをテーマに食育講座を実施しました。本講座では、魚に含まれる栄養素や魚を食べる意義をクイズ形式で紹介した後、寸劇を交えながら、魚のぬいぐるみ模型を活用して魚の体の作りを解説しました。また、海洋生物が人間によって海に廃棄されたプラスチックゴミなどを食べて死んでしまう海洋プラスチック問題についても、紙芝居を活用して子どもたちにわかりやすく説明をしました。講座の後半では、海の環境問題を交えた魚釣りゲームを実施し、最後には子どもたち全員が参加して、模造紙に手形スタンプで大きな魚を作り上げました。参加した子どもたちは、魚や環境問題について、1日を通して楽しく学びました。



しょくぼねっと代表
食・健康学科3年
永田 葵さん

今回は、魚と環境についてのクイズや魚釣りなど、子どもも楽しめる企画の考案に力をいれたので、当日実際に子供たちが笑顔で話を聞いてくれている様子を見て、とても嬉しく感じました。それと同時に、食育の重要性も改めて感じる事ができました。今後も食について楽しみながら学べる活動を行ってきたいと思います。



千早西公民館との連携事業「餅つき大会」

日にち | 2024年12月14日 場所 | 千早西公民館

地域連携センター学生委員をはじめとした学生3名が千早西公民館の餅つき大会に参加しました。大学と公民館との連携・協力を深める活動の一環として参加したもので、当日は、実際に杵と臼を使って餅をつく体験を行ったほか、地域の方に振る舞う餅の丸め作業のお手伝いや公民館を訪れる児童のお世話などをしました。参加した学生たちは、地域住民や児童との交流を楽しむとともに、公民館の地域振興活動について学びました。



国際教養学科2年
木樨 友花さん

餅つき大会を通して幅広い世代間の交流が生まれる、温かく活気あるイベントに参加させていただきました。公民館長さんを中心に、地域の方々や学生が役割を分担しつつ協力することで、「楽しい」を作り出すことができ、それが人と人、地域の連携を深めていくカギとなることを実感しました。



地域交流部門

東部地域大学連携

福岡市東区に位置する福岡女子大学、九州産業大学、福岡工業大学は、平成23年11月に連携協定を締結し、相互の教育・研究の一層の進展と地域社会の発展に寄与することを目的に活動を行っています。

博多どんたく港まつり東区演舞台

日にち | 2024年5月3日、4日 場所 | 香椎駅前西公園

博多を代表するお祭り「博多どんたく港まつり」の東区演舞台のプログラムに東部地域大学連携の学生が参加しました。

本学からは福岡工業大学との合同ダンスサークル「classjack」及び「福岡女子大学フィルハーモニーオーケストラ」がそれぞれダンス・楽器演奏を披露したほか、本学と九州産業大学の放送サークルの学生が協力してステージの司会進行を行いました。また、会場を訪れる子どもを対象とした体験型展示として、本学のモルック同好会moimoiが子ども向けのモルック体験ブースを出店し、学生たちが様々な形でお祭りを盛り上げました。



国際教養学科3年 四ツ井 ゆめさん

子供達から年配の方まで200人以上の方と、モルックを通じて交流できた貴重な機会でした。何度も体験しに来てくださったり、私達の顔や名前を覚えてくださったり、嬉しかったことばかりです！みなさんと一緒に、スポーツをし、感情を共有することが本当に楽しく、ますます地域の皆さんのことが大好きになりました！



東区芸術文化祭「東部地域大学連携合同作品展」

日にち | 2024年10月19日～27日
場所 | 千早なみきスクエアひまわりひろば

東区の魅力ある芸術文化を多くの住民の方に触れていただくためのイベント「東区芸術文化祭」に「東部地域大学連携合同作品展」を出展しました。本学からは華道部、書道部、写真部がそれぞれ作品を出展しました。会期中は、400名を超える地域住民の皆さまが来場し、学生たちの作品をご覧いただきました。3大学の学生、サークルの日頃の活動の成果を発信する大変良い機会になりました。



チャリティーイベント「福岡サントウオークin千早」

日にち | 2024年12月8日
場所 | GARDENS CHIHAYA千早公園

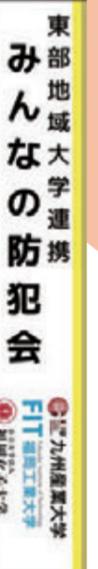
東部地域大学連携では、参加費用の一部が福岡市立こども病院に寄附されるチャリティーイベント「福岡サントウオークin千早」に協力をしています。当日は、サンタの衣装を着て、千早の街を行進しました。



学生防犯ボランティア団体「みんなの防犯会」の発足

東部地域大学連携では、平成28年より、地域の「安全・安心な街づくり」に寄与することを目的として、防犯に関する学生組織「女子学生のための防犯推進協議会」を組織し、活動しています。今般、昨今のジェンダー平等の観点や犯罪の多様化など、時代の要請に対応し、活動の幅を一層広げていくべく、組織変更を行い、新たに「みんなの防犯会」が発足しました。なお、この新名称については、3大学の学生が考案し、加盟大学の学生・教職員の投票によって決定したものです。

東部地域大学連携「みんなの防犯会」では、今後も地域の「みんな」の安全・安心のため、活動してまいります。



福岡県警・東警察署と連携した防犯ボランティア活動

東部地域大学連携「みんなの防犯会」では、福岡県警及び東警察署と連携して、様々な防犯ボランティア活動を行っています。





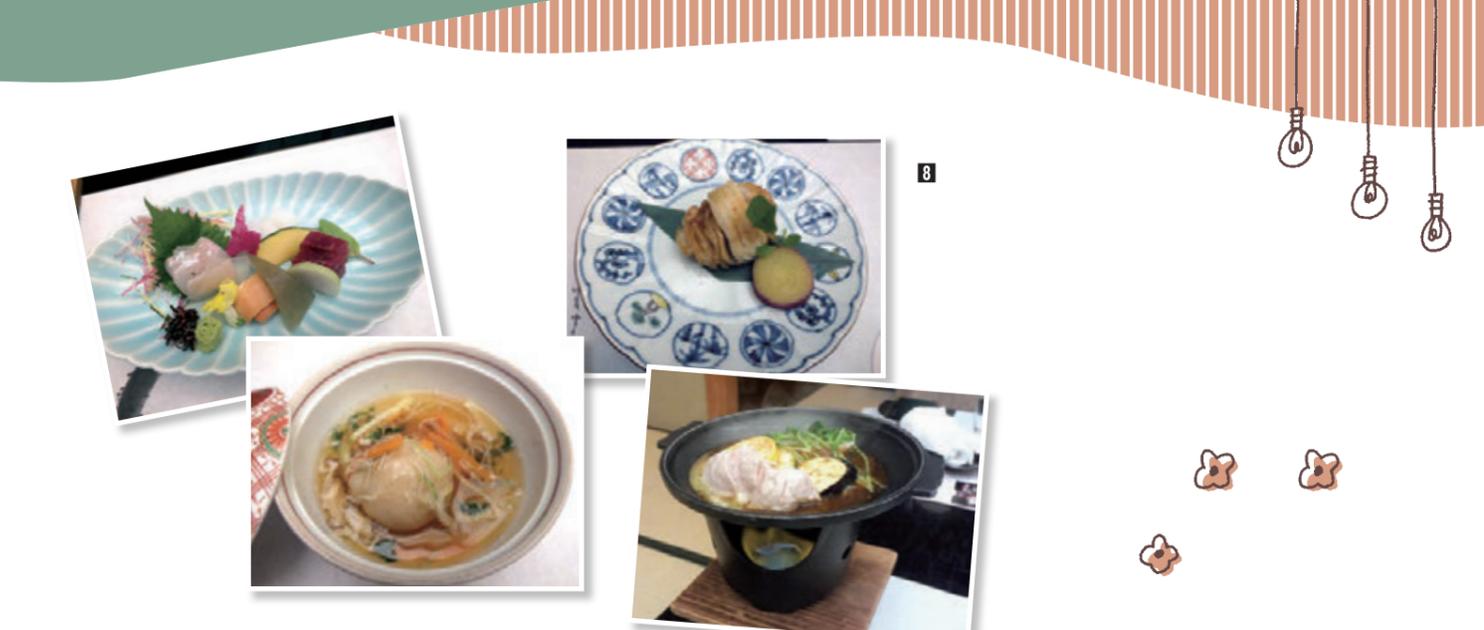
1

福岡女子大学 生涯学習カレッジ 2024

受講者と大学が共に学ぶアクティブな学習の場として平成27年度にスタートした生涯学習カレッジは感性を学習の柱とし、学びの中に「遊び心」を取り入れ、キャンパスキャンパス、学外をフィールドに学び合うプログラムです。2024年度はテーマを「過去を耕し未来へつなぐ」と掲げ、受講生63名は本物の芸術、食文化、歴史に触れ、「学び+α」の体感型プログラムに楽しみながら取り組みました。

生涯学習カレッジ2024 全プログラム

- 第1回 「開講式」 「私の作品について囁く」 **1**
- 第2回 「驚きの味覚体験～ミラクルフルーツとギムネマ～」 **2**
- 第3回 「住吉神社の歴史」 筑前國一之宮 住吉神社 **3**
- 第4回 【九州市民大学】 「最近の中東情勢を読み解く」
- 第5回 「女将による料亭文化と和食」 (料亭 桜坂観山荘) **8**
- 第6回 「邪馬台国への迷い道～黎明期の福岡・九州を求めて～」 **4**
- 第7回 「大伴旅人と古代の大宰府」 **6**
- 第8回 「宗像市の農業」 枝豆収穫体験 **7 10**
- 第9回 【九州市民大学】 「我が相撲道に一片の悔いなし」
- 第10回 「美しい手書きアルファベットの世界」 **11 12**
- 第11回 「元寇後城郭都市博多の大土木工事～博多大水道と実在した袖の湊～」 **5**
- 第12回 【九州市民大学】 「舞台上に恋して～歌ライブ！」
- 第13回 「修了式」 「意見交換会」 「クロージングパーティ」
ろうそく能 (能「殺生石」 狂言「柿山伏」) **9**



8

9



2



3



4



5



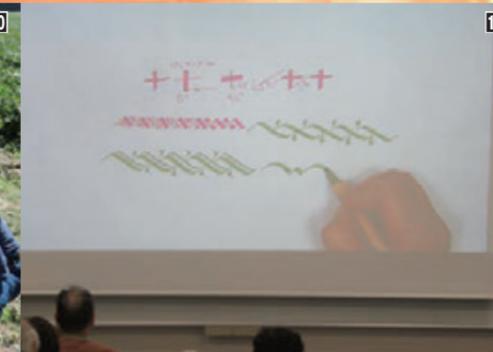
6



7



10



11



12

2024 公開講座

地域の皆様へ“生涯学習の場”を提供するため、毎年各教員の専門領域をわかりやすく紹介する講座を実施しております。今年度は「健康」「環境」「経済」「文化」「英語」等幅広い内容をテーマに、専門的な内容や日々の生活にもお役に立ていただける講座をお届けしました。

歩いて感じる九州の自然と文化 —九州の散策路を知ろう—

環境経済学の視点から、九州自然歩道やフットパスといった散策路が新たな資源利用方法として重要であることを学び、自然アクセス権の意義や散策路の管理における課題についても深く考察しました。受講者からは散策へ連れて行ってほしいといった声も聞かれました。



竹内 亮
環境科学科
講師

Canada: The True North Strong and Free

カナダにある13の州と各州を象徴する写真やカナダの歴史について紹介があり、常に移民受け入れに寛容で、インクルーシブな国家であることが説明されました。受講者はグループセッションを通じて、大いに知的好奇心を刺激されました。



Andrew GALLACHER
言語教育センター
講師

経済と国家： 新興国インドネシアの事例

多様な宗教が共存するインドネシアでは、イスラム教が強い影響力を持ちながらも、他の宗教の存在感が増していること、「パンチャシラ」という5つの国家原理が国民の統一と安定の基盤となり、現在の政治体制や社会に影響を与えていることなどが解説されました。



小西 鉄
国際教養学科
准教授

Great Southern Land: The Wonder of Australia

オーストラリアの歴史や文化、先住民コミュニティ、移民の現状、固有の動植物や食文化について紹介がありました。観光ではケアンズからブリスベンまでの列車の旅がおすすめとのこと、受講者からは「オーストラリアへ行きたい!」との声が多く聞かれました。



Andrew THOMPSON
言語教育センター
講師

EAT (Eastern Asia Tales of Food) 東南アジアの食と環境にまつわるおはなし

国際フードスタディセンターとEATプログラムの紹介に続いて、パーム油が食品だけでなくバイオマス燃料としても利用されていること、さらにマレーシアのパームオイル産業における廃棄物に関する研究への取り組みについて解説がありました。



脇坂 港
国際フード
スタディセンター
教授



2024 公開講座・ 特別講座 シリーズ

「多様な視点から生命を考える」

生命科学の知識は、現代社会における諸課題の解決に不可欠となっています。本講座は、分子生物学を中心に基礎知識を学び、生命科学に関する情報を理解する力を養うことを目的として開催されました。

植物はどのように光を利用するのか

植物が光をエネルギーや信号として利用する仕組みの解説があり、光合成や葉緑体抽出の実演、クロロフィルの働き、クラミドモナスの実物紹介、関連書籍の案内がありました。



田村 典明
福岡女子大学
名誉教授

生物毒から薬を創る

サソリ毒やイモガイ毒、生物毒の医療への応用などを動画を交えながら解説・ご紹介いただきました。時折、ジョークを交えながらの講師による分かりやすい講義で、会場も終始、和やかな雰囲気となりました。



佐藤 一紀
福岡女子大学
名誉教授

ナメクジの脳力 (のうりょく)

ナメクジには、嗅覚の学習能力や体の一部が破壊されても再生力があること、光を認識する能力を持つこと等が紹介されました。実際にナメクジの頭に光があたると逃げていく様子の動画等も見ることができました。



松尾 亮太
環境科学科
教授

動物の卵と精子と胚発生

卵と精子の発生やゲノム編集、体外人工授精の実際などが説明されました。日本では体外人工授精による出生の割合が世界的にみても高いことが紹介され、受講者は驚いた様子でした。



小早川 義尚
九州大学
名誉教授

和白干潟のアサリに何か変なのがある 寄生しているみたいです

全国的なアサリ漁獲量の減少原因として干潟環境の悪化や寄生生物の感染等の報告があること、また、和白干潟で発見された謎の絨毛虫 (MPX 様絨毛虫) の存在が紹介され、受講者の関心を集めました。



瀧下 清貴
環境科学科
教授



研究支援部門

研究支援部門では、大学の知的資源を活用し、地域社会の発展に貢献するため、企業や公的機関との共同研究のサポートや、各種セミナー、交流会などを実施し、産学官の連携を推進します。

2024年度 福岡女子大学 新任・昇任教員による講演会

2024年度に新たに昇任した教授、准教授による講演会を9月24日（火）に開催しました（新規採用の教授・准教授はおりませんでした）。今回は、以下の4名の教員からそれぞれの研究分野について講演を行い、学内外の皆様にご参加頂きました。

講演 1 「産業構造の変化を考慮した気候変動に関する国際枠組みの検討」

昇任 国際教養学科 白新田 佳代子 准教授

講演 2 「移民女性研究の意義とは？」

昇任 国際教養学科 徐 阿貴 教授

講演 3 「ヒトに適した照明環境」

昇任 環境科学科 小崎 智照 教授

講演 4 「野生生物のDNA解析からわかること」

昇任 環境科学科 猪股 伸幸 教授



研究奨励交付金・研究成果の展示

期間 | 2024年6月～8月 場所 | 研究棟1階 図書館入口前

本学では、学術研究費を効果的に活用して本学の特徴を生かした研究を支援することを目的に「研究奨励交付金制度」と呼ばれる学内の競争的研究資金制度を設けています。本学が重視する「リサーチコア」と呼ばれる複数の教員からなるプロジェクトや、その他の様々な特色ある研究を支援しており、昨年度に採択された研究成果を6月から8月にかけて掲示しました。また、これらの研究成果の概要を地域連携センターのホームページで一般公開しています。



福岡県工業技術センター・福岡女子大学 研究交流会

福岡県工業技術センターとの研究交流会を12月11日（水）に本学で開催しました。今回は、工業技術センターから以下の4名の研究員の方を招いて研究交流を行い、本学の教職員や学生約30名が参加しました。今後はより一層交流を深めて、互いに研究を促進していく予定です。



講演 1 「福岡県工業技術センターの紹介」

工業技術センター 副所長 井手 誠二 様

講演 2 「県内の酒造業界支援の取り組みと開発事例の紹介」

生物食品研究所 研究員 片山 真之 様

講演 3 「繊維素材への蛋白質加工技術、及び風合い評価技術の紹介」

化学繊維研究所 繊維技術課長 堂ノ脇 靖巳 様

講演 4 「環境配慮型プラスチックの開発事例の紹介」

化学繊維研究所 化学課長 藤吉 国孝 様



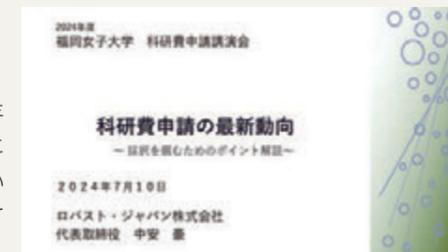
外部資金獲得セミナー（オンライン開催）

「科研費申請の最新動向～採択を掴むためのポイント解説～」

日にち | 2024年7月10日 参加者 | 教職員51名

講師 | ロバスト・ジャパン株式会社 代表取締役 中安 豪 氏

科学研究費の採択率向上のための取組として「外部資金獲得セミナー」を開催しました。今年度は、科研費を中心に競争的研究費の獲得支援の専門家であるロバスト・ジャパン(株)の中安様にご講演を賜り、科研費の最新動向や豊富な支援実績に基づく科研費採択に向けたポイントについてご説明いただきました。科研費採択を目指す学内の多くの教職員が参加し、熱心に耳を傾けていました。



公正取引委員会セミナー「独占禁止法教室」

日にち | 2024年10月16日 参加者 | 学生7名

講師 | 公正取引委員会 事務総局 九州事務所長 大矢 一夫 氏、藤井 里帆 氏

若い世代の独占禁止法に関する知識の向上及び国家公務員のキャリアに関する紹介等を目的として、公正取引委員会と連携したセミナーを開催しました。

市場における公正で自由な競争の実現を目指すルール「独占禁止法」の概要及び公正取引委員会の活動について、わかりやすく丁寧に説明いただきました。また、国家公務員志望の学生も多く参加したことから、公正取引委員会のキャリアや働き方についても、ご紹介いただきました。



SMBCコンシューマーファイナンス株式会社・福岡銀行「資産形成・金融教育セミナー」

日にち | 2025年1月22日 参加者 | 学生・教職員12名

講師 | SMBCコンシューマーファイナンス株式会社 田村 寿美礼 氏
福岡銀行 井浦 明 氏

お金に対する正しい知識を身につけ、自分の暮らしや将来について考えてもらうきっかけを提供するため、SMBCコンシューマーファイナンス株式会社及び福岡銀行と連携した資産形成・金融教育セミナーを開催しました。「この先どのくらいのお金が必要になるの?」というライフイベントとお金の話や、必要なお金を確保するための資産形成や資産運用の話や、投資体験ゲームなどを交えながら金融のプロである講師の方々からやさしく、わかりやすく説明いただきました。



知的財産権セミナー「大学関係者のための知的財産入門」

日にち | 2025年3月14日 参加者 | 教職員28名

講師 | INPIT知財戦略エキスパート/弁護士・弁理士 幸谷 泰造 氏

本学の教職員の知的財産に関する知識の向上等を目的に「知的財産権セミナー」を開催しました。今年度は、INPIT福岡県知財総合支援窓口の協力のもと、幸谷 泰造先生をお招きしてご講演いただきました。講演では、特許をはじめとした知的財産制度について、事例を交えながら分かり易くお話しいただきました。



令和6年度 共同研究・受託研究等に係る外部資金獲得の状況

令和7年1月24日時点

種別	件数	金額
共同研究	15件	1,000,000円
受託研究	3件	2,598,000円
寄附金 ※研究助成含む	5件	2,100,000円
科学研究費助成事業（日本学術振興会）研究代表者分	28件	25,580,000円
科学研究費助成事業（日本学術振興会）研究分担者分	30件	7,003,500円

出前講義等

近隣の高校を中心に、本学の教員が高校にお伺いする出前講義等を実施しています。

1. 出前講義

No.	開催日	学校名	学年	人数	教員名	内容	備考
1	2024年7月4日(木)	福岡女学院高等学校	2年	25名	庄山 茂子 教授	生活環境下における色彩の役割と効果	
2	2024年7月25日(木)	福岡県立香椎高等学校	1・2年	16名	石川 洋哉 教授	食と健康を考える	
3	2024年9月11日(水)	福岡県立春日高等学校	2年	18名	石川 洋哉 教授	食と健康を考える	
4	2024年9月24日(火)	福岡市立福岡高等学校	2年	51名	吉村 利夫 教授	身の回りのプラスチックについて	同一日に50分授業を2回実施。
5	2024年9月27日(金)	熊本県立第一高等学校	2年	54名	けいりじやせいの 教授	グローバル時代の「開発」と「豊かさ」を考えるー日本と世界ー	同一日に60分授業を2回実施。
6	2024年10月16日(水)	福岡県立京都高等学校	1・2年	32名	石川 洋哉 教授	食と健康を考える	オンラインでの実施。
7	2024年10月23日(水)	福岡県立伝習館高等学校	2年	21名	村長 祥子 教授	英語の歴史ーなぜ「5文型」が大事なのか	同一日に60分授業を2回実施。
8	2024年10月24日(木)	福岡県立新宮高等学校	2年	21名	坂本 浩一 教授	ふるさとのことばと文化	同一日に60分授業を2回実施。
9	2024年10月24日(木)	福岡県立新宮高等学校	2年	23名	石川 洋哉 教授	食と健康を考える	同一日に60分授業を2回実施。
10	2024年11月5日(火)	佐賀県立鳥栖高等学校	1・2年	9名	小林 弘司 准教授	食品の安全・安心	
11	2024年11月9日(土)	福岡県立博多青松高等学校	通信制	96名	庄山 茂子 教授	生活環境下における色彩の役割と効果	
12	2024年11月26日(火)	九州国際大学付属高等学校	1・2年	22名	近藤 洋平 准教授	モスク(イスラム寺院)の建築と美術	
13	2024年11月29日(金)	福岡県立香住丘高等学校	2年	78名	長岡 真吾 教授	世界は記号でできている	同一日に90分授業を2回実施。
14	2024年11月29日(金)	福岡県立香住丘高等学校	2年	78名	奥村 文彦 准教授	細胞内の掃除と病気	同一日に90分授業を2回実施。
15	2024年11月29日(金)	福岡県立嘉穂高等学校	2年	26名	けいりじやせいの 教授	グローバル時代の「開発」と「豊かさ」を考えるー日本と世界ー	
16	2025年2月12日(水)	福岡県立小倉西高等学校	1・2年	25名	Robert PRESLAR 講師	Film, Culture, and Language	
17	2025年3月12日(水)	東明館高等学校	1・2年	5名	長岡 真吾 教授	文化を「翻訳」する	

2. 近隣高等学校との連携

福岡県立香住丘高等学校 数理コミュニケーションクラス1・2年生

◆環境科学研究講座

No.	開催日	教員名	内容
1	6月21日(金)	松尾 亮太 教授	ナメクジの学習行動実験
2	6月21日(水)	馬 昌珍 教授	実験でわかるPM2.5の実態
3	7月5日(金)	池田 宜弘 教授	クロマトグラフィーで色素を分離してみよう
4	7月5日(金)	猪股 伸幸 教授	キロショウジョウバエ突然変異体の識別

◆数理コミュニケーションクラス発表会

No.	開催日	内容
1	7月12日(金)	第1回生徒課題研究発表会
2	12月13日(金)	第2回生徒課題研究発表会

福岡県立城南高等学校との連携協定

本学は、福岡県立城南高等学校と以下のような高大連携事業に関する協定を締結し、11月26日(火)に調印式を開催しました。

- 大学の教員による講義および生徒の実験実習の指導・助言
- 大学の教員による高校への出張講義等
- 大学の教員・学生による高校の授業、総合的な探究の時間(理数ゼミⅠ・Ⅱ・Ⅲ、ESD探求)及び課題研究活動等への指導・助言・支援
- 女性の科学技術人材育成を中心とした地域連携事業における指導・助言
- 教育研究活動を目的とした施設の相互利用
- 高校及び大学の教員間の交流事業
- その他、双方が協議し同意した事業

本学の環境科学科と福岡県立城南高等学校による連携事業を2024年度より開始し、課題研究活動や女性の科学技術人材育成に関わる連携事業や教員間の交流など、幅広く活動していく予定です。



2024年度 公開講座・講演会等 開催一覧

2024年4月1日～2025年3月31日に地域連携センター事業として開催した講座・講演会・研修等についてご報告します。

事業名称	講演概要				講座数	延べ受講者数
公開講座	2024年度公開講座(全10回)					
	①	5月30日(木)	歩いて感じる九州の自然と文化ー九州の散策路を知ろうー	竹内 亮	福岡女子大学講師	49
	②	6月29日(土)	Canada: The True North Strong and Free	Andrew GALLACHER	福岡女子大学講師	32
	③	7月12日(金)	経済と国家: 新興国インドネシアの事例	小西 鉄	福岡女子大学准教授	5 30
	④	10月12日(土)	Great Southern Land: The Wonder of Australia	Andrew THOMPSON	福岡女子大学講師	21
	⑤	12月4日(水)	EAT(Eastern Asia Tales of Food) 東南アジアの食と環境にまつわるおはなし	脇坂 港	福岡女子大学教授	28
	2024年度公開講座・特別講座シリーズ「多様な視点から生命を考える」					
	⑥	10月4日(金)	植物はどのように光を利用するのか	田村 典明	福岡女子大学名誉教授	34
	⑦	10月18日(金)	生物毒から薬を創る	佐藤 一紀	福岡女子大学名誉教授	45
	⑧	11月1日(金)	ナメクジの脳力(のうりょく)	松尾 亮太	福岡女子大学教授	20
生涯学習カレッジ	「生涯学習カレッジ2024 テーマ: 過去を耕し 未来へつなぐ」(全14回)					
	第1回	5月25日(土)	開講式 私の作品について囁く	向井 剛 東 智恵	福岡女子大学理事長兼学長 画家	14 625
	第2回	6月15日(土)	驚きの味覚体験ーミラクルフルーツとギムネマー	島村 光治	日本福祉大学健康科学研究所・日本食育学会理事	
	第3回	6月22日(土)	住吉神社の歴史	桐田 篤史	住吉神社権禰宣	
	第4回	7月13日(土)	最近の中東情勢を読み解く(九州市民大学)	酒井 啓子	千葉大学教授	
	第5回	8月24日(土)	女将による料亭文化と和食	川畑 里絵	料亭 桜坂観山荘	
	第6回	8月31日(土)	邪馬台国への迷い道ー黎明期の福岡・九州を求めてー	榊原 英夫	伊都国歴史博物館元館長	
	第7回	9月7日(土)	大伴旅人と古代の大宰府	赤司 善彦	大野城心のふるさと館館長	
	第8回	10月11日(金)	宗像市の農業	中山 博之・山田 堅	宗像市認定農業者協議会	
	第9回	11月8日(金)	我が相撲道に一片の悔いなし(九州市民大学)	元横綱稀勢の里	二所ノ関親方	
	11月11日(月)	ろうそく能	狂言「柿山伏」 能「殺生石」	上杉 啓太 杉山 俊広 鷹尾 章弘 宝生 欣哉		
第10回	11月16日(土)	美しい手書きアルファベットの世界	初島 さつき	スタジオポンテ代表		
第11回	11月23日(土)	元寇後城郭都市博多の土木工事ー博多大水道と実在した袖の湊ー	佐藤 鉄太郎	中村学園大学元教授・博士(文学)		
第12回	12月8日(日)	舞台に恋してー歌ライブ!(九州市民大学)	渡辺 えり	女優・作家・演出家		
第13回	12月14日(土)	修了式 意見交換会	向井 剛	福岡女子大学理事長兼学長		
交流会	福岡県工業技術センター・福岡女子大学 研究交流会					
	12月11日(水)					
	◇講演1	「福岡県工業技術センターの紹介」	井手 誠二	工業技術センター 副所長	1 27	
	◇講演2	「県内の酒造業界支援の取り組みと開発事例の紹介」	片山 真之	生物食品研究所 研究員		
	◇講演3	「繊維素材への蛋白質加工技術、及び風合い評価技術の紹介」	堂ノ脇 靖巳	化学繊維研究所 繊維技術課長		
◇講演4	「環境配慮型材料の開発事例の紹介」	藤吉 国孝	化学繊維研究所 化学課長			
講演会	2024年度新任・昇任教員による講演会					
	9月24日(火)					
	◇講演1	「産業構造の変化を考慮した気候変動に関する国際枠組みの検討」	白新田 佳代子	福岡女子大学准教授	1 22	
	◇講演2	「移民女性研究の意義とは?」	徐 阿貴	福岡女子大学教授		
	◇講演3	「ヒトに適した照明環境」	小崎 智照	福岡女子大学教授		
◇講演4	「野生動物のDNA解析からわかること」	猪股 伸幸	福岡女子大学教授			
研修ほか	外部資金獲得セミナー「科研費申請の最新動向ー採択を掴むためのポイント解説ー」					
	7月10日(水)		中安 豪	ロバスト・ジャパン株式会社 代表取締役	1 51	
	3月14日(金)		幸谷 泰造	INPIT知財戦略エキスパート・弁護士・弁理士	1 28	
合計					28	1,043

福岡女子大学2025年度公開講座

会場 地域連携センター2階 セミナー室2

受講料 各回(税込)500円*

* 高校生無料

講座番号	日程	タイトル	概要	講師
1	6/12 (木) 10:30~12:00	第一級発がん性物質のPM _{2.5} から身を守るためには？	PM _{2.5} (大気中の微小粒子状物質) は、世界保健機関 (WHO) の専門組織で「第一級発がん性物質」に分類されました。現在、国内のいろんな発生源や国外から日本への飛来により、高濃度のPM _{2.5} が観測されるようになりました。本講座では、PM _{2.5} の健康への影響や個人ができる身の守り方について分かりやすく紹介します。	馬 昌珍 (環境科学科 教授)
2	6/28 (土) 10:30~12:00	Rethinking Gendered Dress Codes	Throughout history, gendered clothing regulations have been imposed around the world. At the same time, they have been met with objections on the basis of gender inequality. This lecture will introduce international examples of social movements challenging dress codes in the sports arena and the workplace. For example, guest speaker, Ms. Lasni Buddhishika Jayasooriya, will describe how female school teachers opposed the saree-only dress policy in Sri Lanka. Join us to learn more about the growing dialogue around dress codes and gender equality.	Amy TOMS (言語教育センター 講師) ゲストスピーカー: ラスニ ブッディパシカ ジャヤソリヤ Lasni Buddhishika Jayasooriya (九州大学大学院博士課程在籍)
3	7/26 (土) 10:30~12:00	The Current State of Canadian Politics: Understanding Change and Challenges	This lecture will explain the main events and decisions in Canadian politics over the last ten years. It will focus on what Justin Trudeau's government did, how people reacted, and why some became unhappy with his leadership. We will also look at the rising popularity of Pierre Poilievre and the Conservative Party. Finally, we will discuss how Canada is following a global trend where more people are supporting right-wing politics. This lecture will help participants understand how Canada's politics have changed in the last ten years. It will explain important laws, economic problems, and why Trudeau lost popularity. It will also show how more people are supporting conservative ideas and what that means for Canada's future.	Andrew GALLACHER (言語教育センター 講師)
4	10/11 (土) 10:30~12:00	Sustainable Development Goals (SDGs) : Can we really make change?	In 2015, the United Nations adopted the 2030 Agenda for Sustainable Development—an important proposal designed to create a better and more sustainable world. Achieving the Sustainable Development Goals (SDGs) by 2030 requires coordinated efforts from governments, businesses, and communities. While many of the SDGs demand comprehensive changes, people play a vital role in making meaningful contributions to this global effort. This lecture is designed for anyone interested in learning about the United Nations' 17 Sustainable Development Goals and discovering actionable steps that can be taken at the community level. Together, we can create a more sustainable future for all.	Andrew THOMPSON (言語教員センター 講師)
5	12/1 (月) 14:00~15:30	混迷するアメリカ政治を読み解く：連邦制と自治をめぐる民主主義	2024年大統領選挙は、トランプの「圧勝」となった。2016年以来、アメリカ民主主義の「劣化」「後退」果ては「終焉」と揶揄されてきたが、本当にそうなのか。政治制度と自治の側面からその問いに迫る。	石神 圭子 (国際教養学科 准教授)

*講座番号2・3・4は、英検2級もしくはそれと同等以上の英語力をお持ちの方が対象です。

▶▶▶公開講座・特別講座シリーズ 「小倉百人一首 ~短歌を斬る~」 (全6回) *単独受講もできます。

会場 地域連携センター2階 セミナー室2

受講料 各回(税込)500円*

* 高校生無料

講座番号	日程	回数	タイトル	概要	講師
A	10/3 (金) 14:00~15:30	第一回	藤原定家と『百人一首』	百人一首は本当に定家が作ったものなのか。田淵句美子 (岩波新書『百人一首』) は、定家ではありえないと言いつつ、ただ、いかに定家を選びそうな和歌が並んでいる。その「定家らしさ」がクセモノで、問題なのだ。	今井 明 (福岡女子大学 名誉教授)
B	10/10 (金) 14:00~15:30	第二回	月を詠む歌 —「傾く月」「有明の月」	「月」は形状とその位置によって時間を表現することが可能である。字づらの解釈を越えて、月を詠み込む意図、其処に隠された真意 (恨み辛み、皮肉…) 等を探ってみる。	月野 文子 (福岡女子大学 名誉教授)
C	10/17 (金) 14:00~15:30	第三回	「さびしさ」の「さ」など 一名詞化接尾語を楽しむ	古代日本人は「さびしい」気持ちを「さびしさ」と名詞化するなど多様な表現を楽しみ 世に遺してくれた。表現豊かな名詞化接尾語は 現代においても「み」が大活躍して注目されるなど 実に楽しい話題に満ちている。	坂本 浩一 (国際教養学科 教授)
D	10/24 (金) 14:00~15:30	第四回	後鳥羽院・順徳院と『百人一首』	百人一首の最後を飾るのは、後鳥羽院・順徳院である。ふたりは百人一首に自分の和歌が選ばれていることを知っていたのか。定家との人間関係も絡んでくるので厄介だ。帝王亡きあとの、京・鎌倉政権の状況も視野に入れて考える。	今井 明 (福岡女子大学 名誉教授)
E	10/31 (金) 14:00~15:30	第五回	『百人一首』の「名所」追跡	『百人一首』の中の「末の松山」や「沖の石」など、詠まれる地名一歌枕や名所は、歌が現代まで愛好される要因の一つでもある。ことばの働きと「空間」の性質、後の時代への影響についても探してみたい。	大久保 順子 (国際教養学科 教授)
F	11/7 (金) 14:00~15:30	第六回	流れに浮かぶ紅葉を詠む歌	羅旅歌の「立田山」から屏風絵の「竜田川」へと変化して、紅葉の表現は想像の世界でデフォルメされていく。漢語表現 (黄葉/紅葉/錦葉) が及ぼした印象や「見立て」についても触れる。	月野 文子 (福岡女子大学 名誉教授)

【備考】

- 性別・年齢問わず受講できます。
- 学内には駐車スペースが十分にございませんので、恐れ入りますが公共交通機関をご利用ください。
- 悪天候等により、講座日時が変更になる場合があります。詳細はお電話等でお問合せいただくか、大学ホームページをご確認ください。
- 講師や他の受講生に迷惑となるような行為、講座の進行を妨げるような行為があった場合、受講をお断りする

- ことがあります。このような場合でも、納入された受講料は返還いたしません。
- 講座中の傷病について、本学として責任を負いかねる場合がありますので、お体の不調や異常を感じた時は受講を見合わせるなど、自己の責任において健康管理に十分ご注意ください。
- 講座中の盗難、通学途中の傷病、その他の事故について、本学は一切責任を負いません。

【申込方法】

- Eメール、はがき、電話のいずれかで、①希望講座番号: 1~5 (公開講座)、A~F (公開講座・特別講座シリーズ) ②氏名 (ふりがな) ③郵便番号・住所 ④電話番号 ⑤年齢 ⑥Eメールアドレス (お持ちの方) を、地域連携センターへお知らせください。
- 受講票の発行・郵送はありません。当日、会場の受付に直接お越しいただき、受講料をお支払いください。
- 当日のキャンセル連絡は不要です。



地域連携センター内託児室にて、託児サービスを行っています(業者委託・有料)。利用をご希望の方は、講座開催日(土日祝を除く)の14日前までに地域連携センターへご連絡ください。*人数制限あり。

福岡女子大学 地域連携センター

E-mail : c-renkei4@fwu.ac.jp

〒813-8529 福岡県福岡市東区香住ヶ丘1-1-1

TEL : 092-661-2728 (直通) (電話受付 : 平日9-17時 (ただし、12-13時を除く))



HP

★ご提供いただいた個人情報は、公開講座等の実施・運営、福岡女子大学からのご案内等に使用させていただき、他の目的には使用いたしません。